

祝 同窓会設立100周年1917~2017

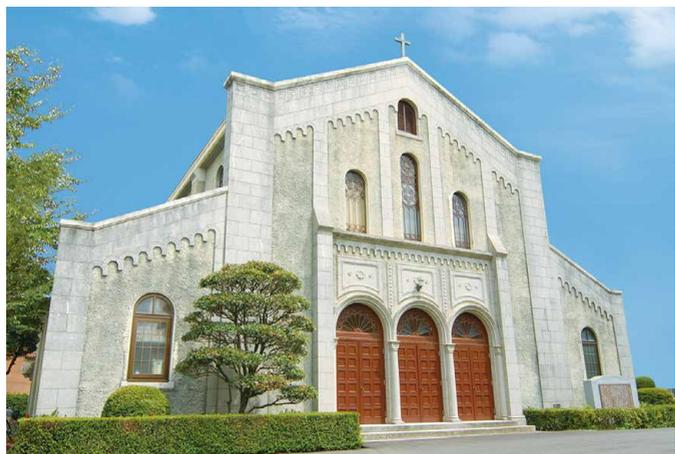
~4月16日(日)に記念礼拝・祝賀会~

九学同窓会

100周年特別号(2)

発行人・山崎恒雄
編集人・小手川勲
熊本市中央区大江5丁目2-1
096-366-4533
http://www.kyugakudousokai.jp/

題字は
紫垣正弘・元同窓会会長



文化庁登録有形文化財「ブラウン・メモリアル・チャペル」(1925年竣工)

熱い祈りと献金で 学院が誕生

~九州学院は創立106周年~

九州学院は、アメリカのキリスト教会(ルター派)から派遣された宣教師チャールズ・L・ブラウン博士らの熱心な呼びかけに添えたアメリカの教会の人々の熱い祈りと献金によって生まれました。1991年の創立80周年を機に男子校から共学となり、現在の卒業生は約3万人を数え、社会のあらゆる分野で活躍中です。2011年に創立100周年の大きな節目を迎え、創立の精神に立ち返りつつ九州学院の新たな世紀に向けて、たゆまない発展を続けています。

1917年に同窓会発足 旧制第2回の卒業式後

九州学院同窓会は、1911(明治44)年の九州学院創立から6年後の1917(大正6)年に遠山参良初代院長によって設立され、今年100周年を迎えます。

同窓会(九州学院)の歩み

- 1910 九州学院設立認可(1月19日)
- 1911 遠山参良初代院長就任
- 1914 校訓を「敬天愛人」に定める
- 1917 同窓会初代会・設立
遠山参良院長同窓会会長就任
- 1925 ブラウン記念礼拝堂竣工
- 1946 川瀬清同窓会会長就任
- 1948 学制改革により九州学院高等学校設置認可
- 1961 創立50周年記念式典を挙行
- 1962 本館(1号館)竣工
- 1966 池永春生同窓会会長就任
- 1968 総合体育館竣工
- 1970 敬愛寮(東棟)竣工
- 1977 紫垣正弘同窓会会長就任
- 1980 第1回新制部会総会を開催
- 1982 川瀬清同窓会会長就任(再任)
徳王グラウンド(野球場など)竣工
- 1985 九学会館竣工
- 1986 敬愛寮(西棟)竣工
- 1991 男女共学に移行 3号館竣工
- 1995 松村敏人同窓会会長就任
全天候型トラック(第4種公認競技場)竣工
- 1999 プール、徳王屋内野球練習場竣工
- 2003 中学校新校舎(4号館)竣工
- 2011 創立百周年記念式典挙行
新体育館竣工
- 2014 山崎恒雄同窓会会長就任
- 2017 同窓会設立百周年記念祝賀会を開催

「大正6年3月13日の第2回の卒業式(旧制中学は5年制)の後午後3時より卒業生大会が開かれ、第1回、第2回の卒業生合わせて80名が参加。遠山院長が同窓会の必要性を説き、「九州学院同窓会規則」の草案について長時間の審議。後日修正の後卒業生会で決議(抜粋要約)以来、歴代院長が同窓会を担い、学院主体の同窓会運営が60年余り続きます。

新しい風「新制部会」活性化に大きな働き

1979(昭和54)年頃から、創立70周年が近づくに連れ、新制高校の初期の同窓生の間から同窓会の活性化を図りたいとの気運が高まり、川瀬同窓会長の了解を得て同窓会の部会として「新制部会」を結成しました。

大同窓会がスタート

新制部会の活動とともに同窓会全体の活動も活発になり、やがて新制部会と従来の同窓会が一体化することとなりました。

1987(昭和62)年から毎年一回「大同窓会」として懇親会が開かれることとなり、現在に至っています。

「大同窓会」がスタート

新制部会の活動とともに同窓会全体の活動も活発になり、やがて新制部会と従来の同窓会が一体化することとなりました。

100周年記念祝賀会次第

- 13:30 記念礼拝(九州学院ブラウン・メモリアル・チャペル)
司式:小副川幸孝チャプレン・副院長
説教:長岡立一郎理事長
- 14:10 ミニコンサート(ピアノ/村上麻里氏)
- 16:00 同窓会総会(熊本ホテルキャッスル)
- 16:50 オープニングアトラクション(チアダンス部)
- 17:00 祝賀会・講演会(吉無田春男氏)・懇親会
- 20:00 閉会予定

講演者プロフィール
吉無田春男氏(S10回)よしむたはるお九州学院中・高から早稲田大に進み、大学3年でローマ五輪のバタフライで5位入賞、社会人3年目の東京五輪には自由形で出場。ユニバーシアード大会では通算6個の金メダルを取得した。北九州市八幡西区在住。

「大正6年3月13日の第2回の卒業式(旧制中学は5年制)の後午後3時より卒業生大会が開かれ、第1回、第2回の卒業生合わせて80名が参加。遠山院長が同窓会の必要性を説き、「九州学院同窓会規則」の草案について長時間の審議。後日修正の後卒業生会で決議(抜粋要約)以来、歴代院長が同窓会を担い、学院主体の同窓会運営が60年余り続きます。

「大同窓会」がスタート

新制部会の活動とともに同窓会全体の活動も活発になり、やがて新制部会と従来の同窓会が一体化することとなりました。

熊本震災の影響は、今も尚あらゆる方面に及んでいます。九州学院も様々な支援を受けて、復興に向けて歩みはじめています。卒業生の皆様にもご心配や、寄付などを頂きま

「今こそ九学魂を示すとき」祝賀会実行委員長 島本 深(S34回)

九州学院同窓会100周年、誠にめでとうございます。今回の祝賀会の実行委員長という大任を委ねられ、多くの同窓の先輩方や、後輩の皆様からの心からの協力をいただき、開催に至りましたことを心より感謝申し上げます。

今年で同窓会創立100年目を迎えられた同窓生の皆様、おめでとうございます。歴史の年輪を重ねて脈々と同窓生の輪をつなげてこられた諸先輩や現同窓生の皆様に敬意を表するものであります。その間、第二次大戦を挟んで困難な時代がありました。逆境を乗り越えて卒業生同士交流を続け、また学院発展のために人的、財的にも支えてきてくださったことに心から感謝いたします。

今もう一度、青春の原点に戻って、九州学院の精神を覚えて活かす時に、私たちはいつまでも心の若さを保つことができると思います。我ら九州学院、同窓の皆さまと共歩みたいと願っています。

同窓会100周年 お祝いメッセージ

「同窓会設立参画の先人に感謝」九州学院同窓会会長 山崎恒雄氏(S21回)

「人的、財的お支えに感謝」九州学院理事長 長岡立一郎氏(S17回)

「心の若さをいつまでも」九州学院院長 阿部 英樹氏(S28回)

